

# 区立小学校における「40分授業午前5時間制」

☎ 教育指導課 ☎ 03-5722-9313 FAX 03-3715-6951

文部科学省研究開発学校として指定された区立小学校(15校)  
下目黒、中目黒、油面、烏森、向原、鷹番、田道、月光原、駒場、緑ヶ丘、原町、不動、上目黒、中根、宮前

目黒区では、平成14年度から「40分授業午前5時間制」を実施しています。授業1単位の時間を40分間とし、午前中に集中して5単位時間分の学習を行うことで学力の定着を図っています。

区立小学校15校は、文部科学省より「研究開発学校」\*として指定(令和元年度～令和5年度)を受け「40分授業午前5時間制」の研究開発を進めています。研究の成果は、令和5年度に全国に発信していきます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策による学校の臨時休業のため、授業時数の確保が課題となっていますが、目黒区では18年間の取組で得られたノウハウを活かし、上記の研究開発学校15校に加えて、多くの学校で「40分授業午前5時間制」が実践され効果を上げています。

\*研究開発学校：学習指導要領等の現行の教育課程の基準によらない教育課程の編成・実施が認められ、その実践研究を通して新しい教育課程・指導方法を開発していこうとするもの。

## 「40分授業午前5時間制」の魅力

### 「40分授業午前5時間制」で生み出した時間の活用

#### 【生み出した時間数の例(第4学年以上)】

- ①年間の標準授業時数1015単位時間、45(分)－40(分)＝5(分)
- ②5(分)×1015(単位時間)＝**5,075分**

児童	教員
<b>個別指導の充実</b> 授業で分からなかったところや苦手な学習を先生に個別に教えてもらったり、学校生活について先生と話をしたりすることができます。	<b>研修、学年会の充実</b> 放課後の時間を活用して、児童の学びの質の向上を図るために、弾力的な時間割設定に対応した指導方法や教材について、教員同士で話し合いながら授業をつくり出しています。
<b>自由時間の拡大</b> 放課後の時間を活用して、友達とランドセルひろばで、たくさん体を動かして遊ぶことができます。放課後、習い事があっても遊ぶ時間があると児童や保護者からも好評です。	

魅力①

#### 生活時程例(第4学年以上)

校時等	時間	月	火	水	木	金
登校時間	8:15～ 8:25			登校		
朝の会	8:30～ 8:40			朝の会		
1校時から5校時	8:45～12:40			40分授業		
給食	12:40～13:20			給食		
昼休み	13:20～13:35	昼会	昼休み	帰りの会	昼休み	昼休み
裁量等	13:40～14:00	マイタイム①	60分授業	委員会クラブ	60分授業	マイタイム②
6校時	14:00～14:40		40分授業			
帰りの会	14:50～15:00		帰りの会			帰りの会
清掃(当番)	15:00～15:15		清掃			清掃
最終下校	15:20			下校		

魅力②

### 長時間学習を活用した主体的・対話的で深い学びの充実

40分と20分を合わせて60分の長時間学習を活用して、体験活動等を充実させるなど単元をマネジメントすることができます。思考力・判断力・表現力等の育成に効果的です。

魅力③

### 生活習慣の確立

児童は給食の時間が少し遅くなることを考慮し、朝ご飯をしっかりと食べてきています。「40分授業午前5時間制」は、早寝・早起き・朝ごはんを習慣化させることができます。

\*生活時程は学校・学年によって異なります。

# 新型コロナウイルス感染症対策～学校(園)の取り組み～

☎ 教育政策課 ☎ 03-5722-9432 FAX 03-5722-9332

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため長期にわたり休業しておりましたが、感染症対策を講じた上で、6月より段階的に再開しています。ここでは、学校(園)の取り組みの一部を紹介します。



## みどりがおかこども園

### 「笑顔と元気のために！ withコロナ」

園では、遊びを通して学ぶ総合的な指導の場で密を避ける工夫を心がけています。子どもたち自身がソーシャルディスタンスをとれるように、保育室を広く使えるよう整えるとともに、遊具や用具を分散し距離をおいて配置しています。活動の場では、幼児同士が距離を保てるよう、手洗い場に並ぶ時の目印として床に印をつけたり、サークルを置いたりする工夫もしています。給食時は、4人～6人がけの机の台数を増やして座る人数を少なくした上で、飛沫防止対策のパテーションを使用しています。このほか、園庭での水遊びや着替え時には、足ふきタオルを個々で使用できるよう枚数や個数を増やしています。

こまめな手洗いの励行やマスクの着用はもちろんのこと、降園後は教職員一丸となって園内の消毒をしています。



飛沫防止対策を講じた給食の様子

## 駒場小学校

### 「あなたのいのちを大切な人を社会を守るため」

今まで経験したことのない不安の中で迎えた新年度、駒場小学校では、臨時休業中にホームページの充実にも努め、様々な情報を発信しました。土日、大型連休中いつも欠かさずに教職員全員が子どもたちに向けてメッセージを送り続けました。

学校の再開以降は、新生活様式「新しい駒小生活」を示し、3密の回避、マスク着用やこまめな手洗いの徹底を続けています。登校時や給食準備に専科教員や支援員が複数体制でサポートし密にならないよう指導をしています。給食は、前向きで食べています。休憩時の外遊びは、間隔を置いて整列し担任と校庭に移動します。

子どもたちも感染症対策に気を配りながら、明るく楽しい学校生活を取り戻しています。



「新しい駒小生活」登校サポートの様子

## 大鳥中学校

### 「禍福は糾える縄の如し」\*

コロナ禍で、私たちは明日が見えない深い霧の中にいるような毎日です。しかし、「禍福は糾える縄の如し」。この苦境を乗り越えれば、必ず明るい未来がやってくると信じて、本校は日々、感染防止に取り組んでいます。

例えば、国が提唱している「新しい生活様式」の実践として、手洗いを徹底するために、大型プリンターを活用して注意喚起のポスターをいたるところに掲示したり、子どもたちがスムーズに手洗いを徹底できるように手洗い場の水を休み時間の前から流し始めるなど感染予防に努めています。主事さんは、子どもたちが触れそうな箇所の消毒を朝に夕にと丁寧に行い、放課後には先生方が教室内の消毒を毎日欠かさず実施しています。

コロナ終息の日まで、目に見えないウイルスと闘い続けていく覚悟です。

\*禍福は糾える縄の如し…人生をより合わせた縄に例えて、幸福と不幸は変転するという意味の故事成語。



啓発ポスター(コロナに打ち勝つ！)